

令和5年名張市議会定例会

令和5年9月定例議会議員提出議案（1）

議員提出議案第 2 号

全国一律の子ども医療費助成制度の創設を求める意見書の提出について

当市議会は、全国一律の子ども医療費助成制度の創設を国に求めるため、地方自治法第99条の規定により、別紙のとおり意見書を提出する。

令和5年 9月 5日提出

名張市議会議員

同

同

同

同

同

永岡 禎

吉住美智子

足立 淑 絵

柏 元 三

常 俊 朋 子

三 原 淳 子

## 全国一律の子ども医療費助成制度の創設を求める意見書

出生数の減少が加速し、少子化が深刻となる中、国は、児童手当や幼児教育・保育の無償化など、子育て世代が安心して子どもを産み育てられる施策の充実を図っているが、子どもの医療費助成に関しては、国による一律の制度は設けられておらず、全ての都道府県及び市区町村が独自に実施している。

子育て世代の大きな不安の一つに子育てにかかる経済的負担があるが、子どもの医療費助成は、保護者負担の軽減に資する施策であり、各家庭の経済状況に左右されることなく、医療機関への受診機会を確保できることから、疾病等の早期発見・早期治療につながるなど、子どもたちの健全な育成に大きく寄与している。

しかし、子ども医療費助成制度は自治体ごとに異なる制度であることから、対象年齢や所得制限、現物給付と償還払いの違いなど、自治体の財政状況等に応じて、助成内容に大きな格差が生じている。

どこで生まれ、どこに住んでも、子どもは等しく大切に育てられるべきであり、国の責任において、必要な医療サービスを公平に受けられるようにすることが必要である。

よって、政府並びに国会におかれては、真に医療を必要とする子どもに等しく適切な医療を提供するため、全国一律の子ども医療費助成制度を早期に創設されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年 9月 5日

名 張 市 議 会